

株式会社 京都銀行

京都市下京区扇丸通松原上る
郵便番号 600-8652

地球温暖化防止へ向けて全店で

今年も「ウォームビズ」に取り組みます！

京都銀行（頭取 柏原 康夫）では、企業の社会的責任（CSR）を実践する活動の一つとして一昨年、昨年に引き続き、今年度も12月3日（月）から本店をはじめ全店で暖房時の室温を環境省の提唱する20 に設定するなど、環境破壊の要因であります地球温暖化の防止に努めます。これにあわせ、服装は「ウォームビズ」をすすめてまいります。

記

1. 実施日

平成19年12月3日（月）から全店で実施

2. 温度調節について

- ・環境省が「冬のオフィスは設定温度20」を提唱しており、当行でも営業室の空調の設定温度を20 とします。
- ・退社予定時刻の1時間前を目処に空調機を停止します。
- ・店舗外ATMについても温度設定を見直します。

暖房設定温度20 の効果について

外気温7 の時に暖房設定温度を21 から20 にした場合、年間で1家庭あたり約25.7kgの二酸化炭素を削減することが出来る。日本では年間の暖房日数の方が冷房日数よりも多く、外気温と室温との差が大きいため、外気温35 の時に冷房設定温度を27 から28 にした場合の年間約5.9kgの削減に比べ、約4.4倍の二酸化炭素の削減効果がある。

（数値は環境省のホームページより）

3. 行員の営業室内での服装について

- ・セーターは着用しませんが、温度に合わせたアンダーウェアを着用するなど調整します。

4. 当行の環境への主な取り組み

ISO認証の取得

平成15年、事務センター（京都市）では、「ISO14001」（環境マネジメントシステムの国際規格）を取得し、電力使用量やコピー用紙の使用削減に取り組み

資源のリサイクルへの取組

「槇島文書センター」にて行内の廃棄文書類のリサイクルを実施
リサイクルしたトイレットペーパーを、京都府内の公立小中学校などへ寄贈
「使用済み蛍光灯ランプ」をリサイクル原料へ再生するシステムを導入
グリーン購入の促進（渉外用カバンへのペットボトルリサイクル製品の採用 等）

エコカーの導入

廃棄文書類や使用済み蛍光灯ランプの回収車に「天然ガス自動車」を導入

屋上緑化 等

「本店東館」をはじめ、堅田支店、事務センターで実施
堅田支店が滋賀県の「第3回淡海ユニバーサルデザイン賞（施設部門）」を受賞（2007年）
すべての人が利用しやすく、風力発電やソーラーシステム、屋上緑化など環境にも配慮している点が評価されました



ユニバーサルデザイン賞 表彰式



堅田支店の屋上緑化

「京銀ふるさとの森づくり」植樹祭の開催

当行嵐山研修会館で、地元の小学生や近隣住民等と約51種類4,000本の木々を植樹



近隣の小学生たちと植樹



かわいい花を咲かせたサザンカ（平成19年11月）

「京都モデルフォレスト協会」の活動へ参画

地球温暖化の防止や災害の防止、景観の保全にむけた森林整備（間伐、枝打ち）活動へ参加するなど、森を守り育てる運動に参画

その他

電気の使用について

使用していない部屋や共用部分（トイレ・廊下等）の照明や空調の停止
開店前や閉店後のロビーの照明の消灯
待機電力の削減（機器を主電源で操作、節電モードの活用等）

自動車の使用について

人待ちや荷物の積み下ろし時にはエンジンを停止（アイドリングストップ）
効率を考慮した訪問予定経路を事前に計画し実践
「エコ安全ドライブ」の取り組み

以上